

平成20年(2008年)から変更

- 1)岡山県小児科医会と県医師会が全県で倉敷方式で実施するように提言、県と教育委員会の協力のもとで実施
- 2)2期だけではなく、3期と4期の対象者にも接種証明書を送付して回収

倉敷市から岡山県全体へ拡大

2期(昨年39位→本年13位)

3期(23位)

4期(31位)

まとめ

- 1)2002年からの調査と接種証明書は接種動機付けに効果的で、麻疹や風疹の接種者を増加、不明を減少させた。
- 2)2007年から小学校就学時健診時と体験入学時の2回、接種証明書の提出を求め、接種率向上に効果を上げた。
- 3)2008年から2期、3期、4期について、全県的に接種証明書が利用されるようになった。